

施策カールテ

1 施策の位置付け

担当課	農業振興課
-----	-------

総合計画 政策の柱	市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	地域産業の創造性・発展性を高める	取組の 基本方向	「地域産業の創造性・発展性を高める」ため、特色ある産業の集積などにより地域間競争に対応していくための「地域特性を生かした産業集積の促進」、意欲ある市民や企業の新たな事業へのチャレンジを促すための「新規開業・新事業創出の促進」、個人個人が能力を発揮し、生き生きと働くことができる環境を創出するための「就業・雇用環境の充実」、また、生産者と消費者との相互理解が図られ、食と農の結びつきを促進するための「地産地消の推進」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	本市の農業、商業、工業において、相互に新たな関係や連携が生み出され、地域資源の有効活用や人材の交流が活発化して、地域産業の創造性・発展性が高まっています。
--------------	-------------------------------	----------------	------------------	-------------	--	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	地産地消の推進						施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率(%)		
	地産地消の推進							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標			
施策目標	生産者と消費者との相互理解が促進され、地域農業と食生活が密接に結びついた地域社会が形成されています。						地産地消の達成状況	---	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	---		
施策を取巻く環境	輸入農産物における残留農薬の検出や、食品の偽装表示などによる「食」の安全に対する不安とともに、環境保護への関心の高まりなどから、生産者の顔が見えるフードマイレージの低い地元農畜産物への期待が高まっている。							地域食料自給率(%)	---	33	34	35	36	37		
市民の施策満足度	27.8%	施策の評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)		説明	消費者の農業や農畜産物に対する関心の高まりが継続している。	現状課題の抽出	目標は達成できていない状況にあるが、農業や農産物に関する正しい情報の提供や、新鮮で安全安心な農産物を学校給食や家庭の食卓へ提供することは、市民の健全な食生活を支えるものである。よって、地元農畜産物や地域農業に関する情報を消費者へ提供することで、地域食料自給率と地域内の農業生産を向上させる必要があるため、地産地消推進計画に定めた事務事業の確実な執行を進める必要がある。					
市民の施策重要度	72.9%		必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している		説明	安全で新鮮な食を求める消費者は増加する傾向にあるため、安定的に生産・供給できる体制づくりへの支援が求められている。							
			効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	農業者、農業団体、流通業界の連携を深め、消費者に対する農業情報の提供と、農畜産物の生産・供給を図る必要がある。								
			有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	消費者・生産者等のニーズに応えた事業を展開していることから、地域農業の振興や市民の安全な食生活の確保に効果をあげている。								

3 今後の取組方針

取組の考え方	生産者が安心して農業を続けられ、本市の農業農村を持続していくためには、生産者は農業に魅力を感じ、意欲と責任をもって営農し、市民が農業に対する理解を深め、地元農畜産物を選び買い支え、守り育てていくことが必要であることから、生産者・消費者・流通業者等が連携し、安全性の高い農畜産物の生産とその情報提供と、市民が身近な地域で手軽に地元産を入手できる仕組みづくりと推進体制の強化に取り組む必要がある。	政策評価 会議意見	農業の持続性や地域食料自給率を高め、地産地消を推進していくためには、生産者が意欲を持って農業を営み、消費者は安全・安心・新鮮な農畜産物を手軽に安定的に手に入れられる必要がある。このため、地域農業や地元農畜産物に関する情報発信による生産者・消費者の相互理解の促進や、生産者と流通・販売業者の連携促進による消費者の手に入れやすさの向上を図るとともに、地域農業の創造性・発展性を高められるよう、これまでの農業の枠組みに捉われない農商連携の促進を図ること。
--------	--	--------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
					実績値	実績値					
1	地産地消推進事業補助金 担当課 農業振興課	3名以上の生産者団体等		施設設置面積(a)	40	75	2,113	2,700		継続	生産者が地域の学校へ新鮮で安全な地元農畜産物を供給できるよう、施設整備に対する支援に止まらず、学校側のニーズとのマッチングや生産者の組織化などのコーディネートにも努め、学校給食へ地元農畜産物が活用される仕組みづくりを図る。
					34	15					
2	地産地消推進事業交付金 担当課 農業振興課	宇都宮市地産地消推進会議		地産地消朝市来場者数(人)		5,000	-	1,500		継続	市民が新鮮な地元農畜産物を身近な地域で安心して手に入れられるよう、推進店制度を早急に確立し、地元農畜産物や購入可能な店舗等に関する情報を日常的に提供できる体制を整える。
						4,500					
施策事業費合計							2,113	4,200			